Ⅳ　意見交換会でのご質問・ご意見

１　藤山台中学校区

⑴　第１回意見交換会

保護者や地域の方にアンケート結果を報告するとともに、藤山台中学校区の小中学校の適正規模及び適正配置に向けた今後の方向性などについて、小中学校で意見交換を行いました。

参加者からは、学校の統合に関することを始め、今後の具体的な検討の進め方や本市の考え方についての質問が多くありました。また、魅力ある学校づくりや他自治体の事例についてなど、様々な質問がありました。

学校名（開催日）	藤山台中学校（令和７年９月22日）	藤山台小学校（令和７年10月15日）
参加者数	６人	18 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関することについて（5） ・今後の具体的な検討の進め方について（3） ・アンケートについて（3） ・過大規模校への対応について（2） ・本市の考え方について（1） ・学校選択制について（1） ・１学級の人数について（1） ・他自治体の事例について（1） ・避難所について（1） ・学校施設の改修について（1） ・地域の活動について（1）	・本市の考え方について（3） ・魅力ある学校づくりについて（3） ・授業の内容について（2） ・今後の具体的な検討の進め方について（2） ・１学級の人数について（1） ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて（1） ・過小規模校の調査・検証について（1） ・先生の意見について（1） ・統合に関することについて（1） ・過去の藤山台小学校の統合について（1） ・学校選択制について（1） ・アンケートについて（1） ・他自治体の事例について（1） ・通学について（1） ・ＰＴＡ役員との意見交換について（1）

※　各意見交換会の議事録については、市ホームページに掲載しています。

⑵　第２回意見交換会

第１回意見交換会の意見などを踏まえ、「藤山台中学校区と岩成台中学校区の学校統合に向けて検討を進める。」という本市の考え方及び今後の進め方を示し、藤山台中学校区全体で意見交換を行いました。

参加者からは、意見交換会についてや不登校の子どもたちへの対応についての質問が多くありました。また、統合に関する本市の考え方や小中一貫校について、他自治体の事例についてなど、様々な質問がありました。

中学校区 （開催日）	藤山台中学校区（令和７年11月29日）
参加者数	11 人
質問・意見 （ ）は件数	・意見交換会について (3) ・不登校の子どもたちへの対応について (3) ・統合に関する本市の考え方について (2) ・小中一貫校について (2) ・他自治体の事例について (2) ・今後の具体的な検討の進め方について (1) ・統合前の学校間の交流について (1) ・統合する場合の部活動について (1) ・通学バスについて (1) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・統合の具体案を示すことについて (1) ・地域クラブ活動について (1)

2　岩成台中学校区

⑴　第１回意見交換会

保護者や地域の方にアンケート結果を報告するとともに、岩成台中学校区の小中学校の適正規模及び適正配置に向けた今後の方向性などについて、各小中学校で意見交換を行いました。

参加者からは、学校の統合に関することを始め、今後の具体的な検討の進め方やスケジュール、学校の跡地についての質問が多くありました。また、魅力ある学校づくりや本市からの情報発信についてなど、様々な質問がありました。

学校名（開催日）	岩成台中学校（令和７年９月26日）	岩成台小学校（令和７年９月29日）
参加者数	６人	23 人
質問・意見（ ）は件数	・アンケートについて (3) ・統合に関することについて (2) ・学校跡地について (2) ・スケジュールについて (2) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (2) ・児童生徒数推計について (1) ・意見交換会について (1) ・今後の具体的な検討の進め方について (1) ・地域クラブの運営について (1)	・今後の具体的な検討の進め方について (3) ・学校跡地について (2) ・情報発信について (2) ・魅力ある学校づくりについて (2) ・過去の藤山台小学校の統合について (2) ・統合に関することについて (1) ・児童生徒数推計について (1) ・学童保育について (1) ・通学について (1) ・学校施設の改修について (1) ・避難所について (1) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (1)

学校名（開催日）	岩成台西小学校（令和７年10月３日）
参加者数	19 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関することについて (3) ・１学級の人数について (3) ・児童生徒数推計について (2) ・通学バスについて (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・本市のその他の施策について (1) ・スケジュールについて (1) ・学校跡地について (1) ・通学について (1)

⑵　第２回意見交換会

第１回意見交換会の意見などを踏まえ、「藤山台中学校区と岩成台中学校区の学校統合に向けて検討を進める。」という本市の考え方及び今後の進め方を示し、岩成台中学校区全体で意見交換を行いました。

参加者からは、統合に関する本市の考え方についての質問が多くありました。また、通学バスや魅力ある学校づくりについて、他自治体の事例についてなど、様々な質問がありまし

中学校区（開催日）	岩成台中学校区（令和７年11月22日）
参加者数	22 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関する本市の考え方について (5) ・通学バスについて (2) ・魅力ある学校づくりについて (2) ・他自治体の事例について (1) ・地域の活動について (1) ・少人数学級について (1) ・今後の具体的な検討の進め方について (1) ・通学区域の変更について (1) ・児童生徒数推計について (1) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (1) ・教員の配置について (1) ・小中一貫校について (1) ・学童保育について (1) ・過去の藤山台小学校の統合について (1) ・スケジュールについて (1)

３　藤山台・岩成台中学校区合同

⑴　第３回意見交換会

藤山台中学校区と岩成台中学校区の第２回意見交換会で示した本市の考え方を踏まえ、両中学校区の方にそれぞれの考えや思いを互いに知っていただくため、第３回意見交換会を中学校区合同で開催しました。

ア　意見交換

会の前半では、「中学校は、藤山台中学校と岩成台中学校の統合に向けて検討を進める。小学校は、藤山台小学校・岩成台小学校・岩成台西小学校の３校の統合に向けて検討を進める。」という本市の考え方を示し、意見交換を行いました。

参加者からは、統合した場合の避難所や学校跡地の活用についての質問がありました。また、アンケート結果や意見交換会の参加者数について、通学方法などの決定までのプロセスについての質問がありました。

中学校区（開催日）	藤山台・岩成台中学校区合同（令和８年３月１日）
参加者数	52 人
質問・意見（ ）は件数	・避難所について (2) ・意見交換会について (2) ・アンケートについて (1) ・多くの方に意見を聞く方法について (1) ・学校跡地について (1) ・決定までのプロセスについて (1) ・教育環境の整備について (1)

イ　参加者どうしの意見交換

会の後半では、５人から７人で一つのグループになり、テーマごとに参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は 38 人（藤山台小学校区 19 人、岩成台小学校区８人、岩成台西小学校区８人、その他の小学校区３人）でした。各テーマの主な意見は次のとおりでした。

【テーマ１】統合する場合、新しい学校に望むこと

・保護者と地域、学校が一緒になって学校づくりをしていきたい。
・英語に特化する授業や手に職がつくような知識を学ぶ授業を導入するなど、魅力ある学校づくりが必要だと思う。
・自分たちで考えてつくり上げる教育が大事なので、授業のカリキュラムを児童生徒どうしで考えることができる学校がよい。
・体育館が大きいと部活動も活発になり、子どもたちが楽しく過ごせると思う。

【テーマ２】統合する場合、心配なこと

・学校が遠くなると登下校が不安になる。通学の見守りの体制など、安全をどう確保するのか心配になる。
・通学バスを導入する場合、利用料金や利用基準などはどうなるのか不安である。
・学校の跡地の活用についてや、子どもの家は今と同じように利用できるのか心配である。
・児童生徒数推計をみると、仮に今回統合したとしてもその先にまた統合が必要になるのではないかと思う。高蔵寺ニュータウン全体での市の考えが必要だと思う。

【テーマ３】統合する場合、新しい学校の場所の考え方

・岩成台中学校と岩成台西小学校の土地で小中一貫校ができたらよいと思う。
・藤山台小学校は施設が新しいので、仮に統合する場合、小学校は藤山台小学校の校舎、中学校は岩成台中学校の校舎を利用したらよいと思う。
・行政コストがかからないようにしてほしい。
・学校区を見直して一番近い学校に通うことにすればよいと思う。

⑵　第４回意見交換会

「高蔵寺ニュータウン地区における基本方針（案)」を示すとともに、藤山台中学校区と岩成台中学校区の方にそれぞれの考えや思いを互いに知っていただくため、第４回意見交換会を中学校区合同で開催しました。

ア　意見交換

会の前半では、「高蔵寺ニュータウン地区を藤山台・岩成台中学校区と高森台・石尾台中学校区の２つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討する。」という基本方針の案を示し、意見交換を行いました。

参加者からは、児童生徒数推計の算出根拠の確認や懇談会など今後のスケジュールについての質問がありました。また、魅力ある学校づくりや統合とあわせた高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについての意見などがありました。

中学校区（開催日）	藤山台・岩成台中学校区合同（令和８年５月30日）
参加者数	23 人
質問・意見（ ）は件数	・児童生徒数推計について (3) ・スケジュールについて (3) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (2) ・他自治体の事例について (1) ・通学区域の変更について (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・意見交換会について (1) ・検討の進め方について (1)

イ　参加者どうしによる意見交換

会の後半では、５人から６人で一つのグループになり、テーマごとに参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は 21 人（藤山台小学校区 13 人、岩成台小学校区３人、岩成台西小学校区５人）でした。各テーマの主な意見は次のとおりでした。

【テーマ１】統合した新しい学校に期待すること

・小中一貫教育や子どもの個性を伸ばすことができる特色あるカリキュラムを取り入れた魅力ある学校をつくってほしい。
・新しい校舎、きれいな施設を整備してほしい。トイレなどがきれいな方がよい。
・高蔵寺ニュータウンの活性化につながるような魅力ある学校づくりが重要だと思う。
・統合して空いた学校に、不登校の子どもが通える学校をつくるとよい。不登校以外にも障がいのある子どもなど、いろいろな子どもに対応できる学校がよいと思う。
・規模が小さい学校では小学１年生の時点で人間関係が決まってしまうと思う。人間関係を固定化させないためにも、複数クラスは必要であると思う。
・１学級 35 人の基準では先生の目が行き届かなくなり､不登校の子どもが増えると思う。各学年で１学級当たりの人数の基準を変えてほしい。

【テーマ２】統合する場合に心配なこと

・通学範囲が広くなり安全面が心配である。小学１年生には通学バスを必ず導入してほしい。バスを導入する場合は、利用者の負担がないようにしてほしい。
・通学範囲が広がるからといって、スクールバスを出すことは慎重に考えてほしい。子どもは歩くことも必要だと思う。
・小規模校は子どもたち一人ひとりの状況を把握できるなどの良いところがあるため、小規模校も残してほしい。また、小規模校のメリットを適正規模の学校にも取り入れてほしい。
・統合後の子どもたちの人間関係が心配なため、互いの学校の交流を深める取組をしてほしい。また、各学校の保護者のつながりも円滑に進むようにしてほしい。
・早めにスケジュールが示されるとよいと思う。団地の特性として、新しく拠点となる学校の近くに住民が集まってくることも期待できると思う。
・学校区が広くなることで、授業参観や運動会などの保護者が学校に集まる時の負担が増える。保護者への支援も必要だと思う。

４　高森台中学校区

⑴　第１回意見交換会

保護者や地域の方にアンケート結果を報告するとともに、高森台中学校区の小中学校の適正規模及び適正配置に向けた今後の方向性などについて、各小中学校で意見交換を行いました。

参加者からは、学校の統合に関することを始め、今後のスケジュールやバスなどの通学について、児童生徒数の推計についての質問が多くありました。また、学童保育や学校跡地についてなど、様々な質問がありました。

学校名（開催日）	高森台中学校（令和７年10月22日）	高森台小学校（令和７年10月14日）
参加者数	12 人	19 人
質問・意見（ ）は件数	・児童生徒数推計について (2) ・スケジュールについて (1) ・統合に関することについて (1) ・学校施設の改修について (1) ・体育館の空調について (1) ・意見交換会について (1) ・学校跡地について (1)	・通学バスについて (3) ・魅力ある学校づくりについて (3) ・統合に関することについて (2) ・過去の藤山台小学校の統合について (2) ・スケジュールについて (1) ・児童生徒数推計について (1) ・授業内容について (1) ・避難所について (1) ・学校行事について (1) ・いじめ等の対応について (1) ・少人数学級について (1) ・学童保育について (1) ・体育館の空調について (1)

学校名（開催日）	中央台小学校（令和７年10月23日）	東高森台小学校（令和７年９月25日）
参加者数	24 人	21 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関することについて (7) ・通学について (3) ・スケジュールについて (3) ・学童保育について (2) ・学校施設の改修について (1) ・少人数学級について (1) ・過去の藤山台小学校の統合について (1) ・学校跡地について (1) ・１学級の人数について (1) ・意見交換会について (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・本市の考え方について (1)	・統合に関することについて (3) ・児童生徒数推計について (3) ・アンケートについて (3) ・小規模校のメリット・デメリットについて (2) ・意見交換会について (2) ・通学について (2) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (1) ・学童保育について (1) ・本市の考え方について (1) ・スケジュールについて (1) ・過去の藤山台小学校の統合について (1) ・過小規模校のデメリットについて (1) ・過大規模校のデメリットについて (1) ・情報発信について (1) ・今後の具体的な検討の進め方について (1)

⑵　第２回意見交換会

第１回意見交換会の意見などを踏まえ、「高森台中学校区の小中学校が適正な規模や配置となるように隣接する中学校区を含めた学校統合に向けて検討を進める。」という本市の考え方及び今後の進め方を示し、高森台中学校区全体で意見交換を行いました。

参加者からは、通学に関して心配する声や高蔵寺ニュータウン活性化の取組をあわせて行うことについての意見が多くありました。また、話し合いの機会を増やして慎重に検討を進めてほしいなど、今後の進め方についての意見の他に、小規模校のメリットや１学級の人数についての質問に関連して、きめ細かな教育を望む意見もありました。

中学校区 （開催日）	高森台中学校区（令和７年12月７日）
参加者数	31 人
質問・意見 （ ）は件数	・通学について (3) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (3) ・今後の具体的な検討の進め方について (3) ・教員の配置について (2) ・学校跡地について (2) ・子どもに対するケアについて (2) ・統合に関する本市の考え方について (2) ・児童生徒数推計について (2) ・小規模校のメリットについて (1) ・１学級の人数について (1) ・過去の藤山台小学校の統合について (1) ・意見交換会について (1) ・地域への影響について (1) ・他自治体の事例について (1) ・大規模校のデメリットについて (1) ・情報発信について (1) ・配布資料について (1) ・少人数学級について (1)

⑶　第３回意見交換会

第２回意見交換会の意見などを踏まえ、高森台中学校区の学校統合に向けた本市の考え方及び今後の進め方を示し、高森台中学校区全体で意見交換を行いました。

ア　意見交換

会の前半では、「高森台中学校区の小中学校が適正な規模や配置となるように隣接する中学校区の小中学校との学校統合に向けて検討を進める。隣接する中学校区として、石尾台中学校区を対象とする。」という本市の考え方を示し、意見交換を行いました。

参加者からは、通学距離の基準の確認や通学方法の検討の必要性など、通学についての意見の他に、統合する場合の進め方の確認や統合による地域への影響を心配する意見もありました。

中学校区（開催日）	高森台中学校区（令和８年４月25日）
参加者数	７人
質問・意見（ ）は件数	・通学について (3) ・統合に関する本市の考え方について (3) ・部活動について (1)

イ　参加者どうしの意見交換

会の後半では、３人から４人で一つのグループになり、参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は７人（高森台小学校区３人、中央台小学校区２人、東高森台小学校区２人）でした。主な意見は次のとおりでした。

【テーマ】統合に関する市の考え方について

・統合して児童生徒数が増えることにより、授業や部活動などの子どもたちの活動の幅が広がると思う。
・統合を機会に、地域の方と協力して学校運営ができる仕組みをつくりたい。
・統合する場合は、10 年、20 年後の将来の状況を見据えた統合をお願いしたい。
・子どもたちが将来活躍できるように、多少費用はかかっても、最新の学校施設を準備し、特別なカリキュラムを取り入れてほしい。
・統合は環境の変化を伴うので、子どもたちの心のケアをする必要があると思う。
・通学時の熱中症や通学時間が心配になる。
・バスを導入する場合、バス停の場所などの具体的な説明がないので不安に感じる。
・統合で削減できる費用を教育のことに充ててほしい。
・災害対策について心配なため、避難所として活用できる体育館などは残してほしい。

５　石尾台中学校区

⑴　第１回意見交換会

保護者や地域の方にアンケート結果を報告するとともに、石尾台中学校区の小中学校の適正規模及び適正配置に向けた今後の方向性などについて、各小中学校で意見交換を行いました。

参加者からは、学校の統合に関することを始め、今後のスケジュールや通学方法について、魅力ある学校づくりについての質問が多くありました。また、学校跡地や情報発信についてなど、様々な質問がありました。

学校名（開催日）	石尾台中学校（令和７年10月17日）	玉川小学校（令和７年10月９日）
参加者数	14 人	22 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関することについて (4) ・児童生徒数推計について (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・現状の学校の体制について (1) ・地域の活動について (1) ・意見交換会について (1) ・情報発信について (1)	・通学バスについて (3) ・統合に関することについて (3) ・アンケートについて (2) ・通学区域の変更について (1) ・避難所について (1) ・いじめ等の対応について (1) ・少人数学級について (1) ・授業内容について (1) ・スケジュールについて (1) ・過去の藤山台小学校の統合について (1) ・学校施設について (1) ・魅力ある学校づくりについて (1)

学校名（開催日）	石尾台小学校（令和７年10月６日）	押沢台小学校（令和７年10月７日）
参加者数	22 人	30 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関することについて (4) ・通学について (3) ・過去の藤山台小学校の統合について (2) ・今後の具体的な検討の進め方について (2) ・アンケートについて (1) ・単学級のデメリットについて (1) ・１学級の人数について (1) ・スケジュールについて (1) ・情報発信について (1) ・意見交換会について (1)	・魅力ある学校づくりについて (5) ・統合に関することについて (4) ・スケジュールについて (3) ・今後の具体的な検討の進め方について (3) ・児童生徒数推計について (2) ・過去の藤山台小学校の統合について (2) ・学校跡地について (2) ・通学バスについて (2) ・学校選択制について (1) ・１学級の人数について (1) ・本市の考え方について (1) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (1) ・学童保育について (1)

⑵　第２回意見交換会

第１回意見交換会の意見などを踏まえ、「石尾台中学校区の小中学校が適正な規模や配置となるように隣接する中学校区を含めた学校統合に向けて検討を進める。」という本市の考え方及び今後の進め方を示し、石尾台中学校区全体で意見交換を行いました。

参加者からは、取組の目的についてや統合に関する本市の考え方、魅力ある学校づくりなどの質問がありました。また、高蔵寺ニュータウン地区の現状や地域の実情の把握についてなど地域の視点にたった質問や、アンケートに関する質問も多くありました。

中学校区 （開催日）	石尾台中学校区（令和７年12月20日）
参加者数	41 人
質問・意見 （ ）は件数	・アンケートについて (3) ・高蔵寺ニュータウン地区の現状について(2) ・通学区域の変更について (2) ・取組の目的について (2) ・統合に関する本市の考え方について(2) ・本市の財政への影響について (1) ・地域の実情をしっかり把握することについて (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・児童生徒数推計について (1) ・検討の順序について (1) ・意見交換会について (1) ・他自治体の事例について (1) ・スケジュールについて (1)

⑶　第３回意見交換会

「保護者の声をもっと聴いてほしい。」という意見を受け、石尾台中学校区の保護者を対象に第３回意見交換会を開催しました。

参加者からは、取組の進捗状況や本市から具体的な案を提示することなど、今後の具体的な検討の進め方についての質問が多くありました。また、アンケートや意見交換会についてでは、保護者や子どもたちの意見を多く聞いてほしいという意見がありました。

中学校区 （開催日）	石尾台中学校区（令和８年２月11日）
参加者数	12 人
質問・意見 （ ）は件数	・今後の具体的な検討の進め方について (4) ・アンケートについて (3) ・意見交換会について (3) ・統合に関する本市の考え方について (1) ・魅力ある学校づくりについて (1) ・小中一貫校について (1) ・学校の教室数について (1) ・他自治体の事例について (1) ・石尾台中学校区の進捗状況について (1)

⑷　第４回意見交換会

第２回及び第３回意見交換会の意見などを踏まえ、石尾台中学校区の学校統合に向けた本市の考え方及び今後の進め方を示し、石尾台中学校区全体で意見交換を行いました。

ア　意見交換

会の前半では、「石尾台中学校区の小中学校が適正な規模や配置となるように隣接する中学校区の小中学校との学校統合に向けて検討を進める。隣接する中学校区として、高森台中学校区を対象とする。」という本市の考え方を示し、意見交換を行いました。

参加者からは、統合を考えるにあたっての優先順序や今後の検討の進め方についての意見がありました。また、高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりへの影響を心配する意見や、玉川小学校区の特性も考えて検討してほしいという意見もありました。

中学校区（開催日）	石尾台中学校区（令和８年４月25日）
参加者数	19 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関する本市の考え方について（1） ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて（1） ・児童生徒数推計について（1） ・通学について（1） ・今後の具体的な検討の進め方について（1） ・民生委員の活動について（1） ・玉川小学校区への対応について（1）

イ　参加者どうしの意見交換

会の後半では、４人から５人で一つのグループになり、参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は 17 人（玉川小学校区５人、石尾台小学校区６人、押沢台小学校区５人、その他の小学校区１人）でした。主な意見は次のとおりでした。

【テーマ】統合に関する市の考え方について

・小学校から様々な人と関わることは大事だと思う。
・急いで統合を進める必要はないと思う。多くの子どもたちと学校生活を送ることが必要であれば、学校の行事や部活動などを他の学校と合同で行えばよいと思う。
・１学年１学級であることは人間関係に悩んだ時に不安がある。複数の学級があり、環境を再構築できることが必要だと思う。
・通学バスを利用するのであれば、路線バスではなく貸し切りバスを用意するなど、市が責任もって準備してほしい。
・学校は自宅から歩いて通える位置にないといけないと思う。バスで通学するにしても、子どもにとっては負担になると思う。
・学校が近く、静かな環境であるという理由でこの地区に引っ越しをしてきた人が多くいる。統合により学校がなくなると地域が廃れると思う。

６　高森台・石尾台中学校区合同

「高蔵寺ニュータウン地区における基本方針（案）」を示すとともに、高森台中学校区と石尾台中学校区の方にそれぞれの考えや思いを互いに知っていただくため、意見交換会を中学校区合同で開催しました。

⑴　意見交換

会の前半では、「高蔵寺ニュータウン地区を藤山台・岩成台中学校区と高森台・石尾台中学校区の２つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討する。」という基本方針の案を示し、意見交換を行いました。

参加者からは、学校統合の順序についての提案のほか、統合以外の手法を望むことなどの学校統合の考え方についてや、まちづくりの観点も含めて取組を進めてほしいなどの高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについての意見がありました。また、学校づくりを考える懇談会と今後のスケジュールについての質問などもありました。

中学校区（開催日）	高森台・石尾台中学校区合同（令和８年６月14日）
参加者数	35 人
質問・意見（ ）は件数	・統合に関する本市の考え方について (7) ・高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについて (5) ・１学級の人数について (2) ・学校づくりを考える懇談会について (2) ・児童生徒数推計について (1)

⑵　参加者どうしによる意見交換

会の後半では、５人から７人で一つのグループになり、参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は 23 人（高森台小学校区２人、中央台小学校区５人、東高森台小学校区４人、玉川小学校区５人、石尾台小学校区２人、押沢台小学校区５人）でした。主な意見は次のとおりでした。

【テーマ】学校統合について期待すること・心配なこと

・小規模校にはメリットもあるが、先生や友達がたくさんいる環境、子どもたちの社会性などを考えると、複数クラスがある学校規模に向けて取組を進めることが必要だと思う。
・１学級 35 人の基準が本当によいのか。教育に関することをたくさん議論して、小規模校の良さであるきめ細かな教育ができるように進めていくべきだと思う。
・通学が心配なので、小学校は今のままで中学校だけ統合してはどうかと思う。
・通学バスの導入など市が責任をもって決定し、市民が安心できる説明をすればよい。
・統合する前に子どもたちからも意見を聞いてほしい。
・学校統合の話だけではなく、まちづくりもあわせて考えてほしい。
・市の財政などを考えると、今の学校数を今後維持していくことは厳しいと思う。